

授業 科目	UC 2 E 2 1 子どもの健康と安全	1 単位	選択	演習	2 学年後期	担当 教員	教授 櫻井 ますみ					
授業の概要	1. 子どもの健康及び安全に係る保健活動の計画及び評価について学ぶ。 2. 子どもの健康増進及び心身の発育・発達を促す保健活動や環境を考える。 3. 子どもの疾病とその予防及び適切な対応について具体的に学ぶ。 4. 救急時の対応や事故防止、安全管理について具体的に学ぶ。 5. 現代社会における心の健康問題や地域保健活動等について理解する。											
到達目標				学習成果Ⅰ			学習成果Ⅱ			学習成果Ⅲ		
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
子どもの発育・発達と評価方法について理解する。							◎	◎				
子どもの健康状態を理解し、測定方法について学ぶ。							○	◎				
子どもの日常におけるさまざまな養護の方法について理解を深める。							◎	◎	○			
子どものよくおこる事故、応急処置について理解し、対応の方法を学ぶ。							○	◎	○			
凡例 ◎：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために特に重要な目標、○：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために重要な目標 査定項目①～⑨はivページ参照												
	主 題	準備学習	本時の学習内容と到達目標					復 習				
1	オリエンテーション 保育・教育環境の保健衛生 について知ろう	事前にシラバスに目を通し、 興味のある内容に着目する	授業の進め方および評価の方法を理解する ①子育てにかかわる大人の環境を知る。 ②保健衛生の具体的考え方について理解する。					ノート、教科書、参考図書等の確認				
2	子どもの健康とその観察 を知ろう	教科書P52～64 の内容を 読んでおく	①乳児・幼児の健康観察について理解する ②妊娠と母子健康手帳、母親の健康診査について理解する					自分の母子健康手帳を用いて乳児期の健康について考える				
3	日常における養護の方法 ①	教科書P192～P198 の内容を 読んでおく	①子どもの抱き方、おんぶの仕方について理解する ②衣服の着脱について理解する ＊乳児モデルにより抱き方、おんぶの仕方、衣服の着脱を実施する					実際の子どもの抱き方、おんぶの仕方、衣服の着脱のポイントをまとめる				
4	日常における養護の方法 ②	教科書P192～P198 の内容を 読んでおく	①おむつの交換、新生児の沐浴について理解する ＊乳児モデルを使用し、おむつの交換、沐浴を実施する					実際のおむつ交換、沐浴のポイントをまとめる				
5	子どもの身体的発達とその評価について知ろう	教科書p16～p26 の内容を 読んでおく	①子どもの体重測定、身長測定、頭囲、胸囲についての測定方法を理解する ②子どもの身体測定結果の評価方法を理解する ＊乳児モデルを使用し、各測定方法を実施する					実際の測定方法と評価方法のポイントをまとめる				
6	子どもの生理的発達とその評価について知ろう	教科書p54～p59 の内容を 読んでおく	①子どもの体温測定、脈拍測定の方法を理解する ②子どもの生理的発達の評価を理解する					実際の体温測定、脈拍測定のポイントをまとめる				
7	子どもの感染症について知ろう	教科書P160～P169 の内容を 読んでおく	①子どもの感染症の特徴と病態について理解する					感染症成立の条件についてまとめる				

8	子どもの病気を知ろう①	発表の用意をする	①個人発表を聞いて評価する。	感染症についてポイントをまとめる
9	子どもの病気を知ろう②	発表のリハーサルをする	①個人発表を聞いて評価する。	感染症についてポイントをまとめ、発表方法を評価する。
10	子どもの歯の健康と摂食について知ろう	教科書P186～P191の内容を読んでおく	①子どもの歯のケア方法 ②虫歯の原因 ③虫歯の現状 ④歯みがきの方法について理解する ②子どもの口の中の働きについて知る。	子どもの虫歯、歯みがきの方法についてポイントをまとめる
11	子どもの症状について知ろう	教科書P140～P149の内容を読んでおく	①子どもの発熱 ②子どもの咳 ③子どもの腹痛 ④子どもの嘔吐 ⑤子どもの下痢 ⑥子どものけいれんとその手当について理解する。 *子どもの症状の対応のDVDを視聴する	子どもの症状と対応についてのポイントをまとめる
12	子どもへの薬の使い方を知ろう	教科書P147～P149の内容を確認しておく	①カプセル、水薬、散薬などの与え方 ②座薬 塗布薬、点眼薬の使い方について理解する	子どもへの薬の使い方についてのポイントをまとめる
13	よく起こる事故について知ろう	教科書P124～P139の内容を確認しておく	①子どもの事故の特徴 ②事故防止 ③安全管理 ④安全教育について理解する	子どもの事故防止、安全教育についてのポイントをまとめる
14	いざというときの応急処置について知ろう	教科書P150～P158の内容を確認しておく	①子どもの応急処置の留意点 ②急病時の応急処置 ③傷害時の応急処置について理解する ④傷の処置、包帯の巻き方について理解する *子どもの救急対応についてのDVDを視聴する	子どもの応急処置のポイントについてまとめる
15	まとめ	1回目から14回目までの内容を整理し、疑問点を明らかにする	・これまでの授業における内容について学生からの質問をうける	授業内容の自分の知識の不足部分について理解を深める
成績評価	受講態度（20％） 課題・発表・小テスト（30％） 期末試験（50％） 合計 100％			
教員からのコメント	この教科では、今まであまり聞いたことのない医学用語が出てきます。難しい言葉と感じたら、やさしい言葉をさがしてみましょう。難しいと感じる内容は、理解を確認しながら進めたいと思います。どんどんわからないところは質問してください。お互い学び合ひましょう。 演習を取り入れる授業も展開しています。欠席すると自分の貴重な体験が減ることになります。積極的な姿勢で取り組んでください。状況によって、理解を促すためにシラバスの順番を変更することもあります。			
教科書	書名 子どもの保健と安全 演習ブック 松本峰雄（監修） 発行所 ミネルヴァ書房 ※子どもの保健と同じ教科書を使用する	推薦図書	生きている人体 養老孟司監訳 時空出版 なぜ病気はおきるのか 人間のからだと病気 水谷弘 草思社 からだの不思議 だれでもわかる解剖生理学 坂井建雄 メヂカルフレンド	